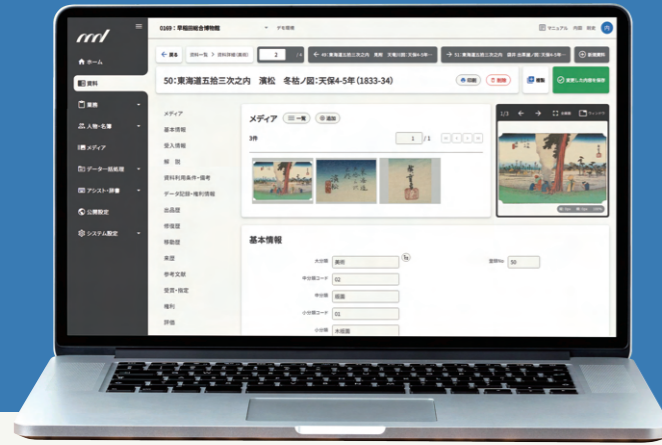


直感的に操作できる人間中心設計のインターフェイス



表示する資料画像を見やすくするために、画面に使用する色は彩度を低めに設定。

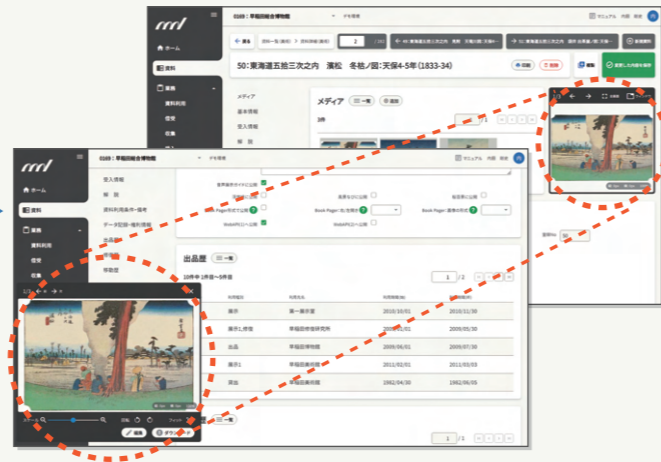
黒と白の強いコントラストで視認性を高めつつ、モノトーンに暖色を少し混ぜた優しいカラーリングで、心地よく疲れにくいインターフェイスにまとめました。

見やすく分かりやすいインターフェイス設計は、カラーのほか各要素のレイアウトにも反映されています。



検索パネルは、結果の表示画面でも上部にそのまま残ります。検索をやり直す際、ひとつ前の画面に戻る手間がないので、検索条件を少しずつ追加・変更しながら絞り込む時などに便利です。

画像データは画面上にフローティング表示されるので、全体をスクロールしても常に画像が見える状態で作業することができます。
また、画像ウィンドウは位置もサイズも自由に調整できるので、たとえば画像を拡大して細部の文字を確認しながらテキストデータを入力・編集することも可能です。



動作環境

対応OS、Webブラウザ

Windows : Edge 最新版 (Chromium 版) / Google Chrome 最新版
macOS : Safari 最新版 / Google Chrome 最新版
クライアント OS 上で動作する Web ブラウザのみを動作保証いたします。Edge の Internet Explorer モードは動作保証しておりません。記載内容にかかわらず、製造元のサポートが終了している OS や Web ブラウザは動作保証外です。動作保証外の環境に依存する問題については、サポートしていません。
iPad・Android タブレット等に搭載されているモバイルブラウザでは、一部の機能をご利用いただけないことがあります。詳しくはお問い合わせください。

画面解像度

SXGA (1280×1024 ピクセル) 以上
画面解像度が上記を満たさない場合、正しく表示されません。

その他

Microsoft Excel 2016 以上、Microsoft Word 2016 以上、PDF 閲覧ソフト (Adobe Acrobat Reader 等)

推奨回線

ブロードバンド回線 (xDSL, FTTH, 専用回線等)

 **早稲田システム開発株式会社**
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 4-40-17 Foresight 高田馬場 4 階
TEL : 03-6457-8585 FAX : 03-6279-3333

お問い合わせはフリーダイヤルへ

 **0120-149-223**

 博物館クラウド

受付時間 / 平日 9:30 ~ 18:00

<https://www.waseda.co.jp/>



 **waseda**
System Development



 **I.B. MUSEUM SaaS**
博物館に、デジタルプラットフォームを。

MAPPS
Museum Archives Platform Projects

データ量やユーザ数
に関わらず
月額3万円の
固定料金制

学芸業務の DX から、豊富なチャネルを駆使した情報発信まで。 博物館に、デジタルプラットフォームを。

学芸業務の負担軽減から管理業務の効率化、来館者サービスの強化、資料情報の外部公開、そして外部サービスなどへの情報提供まで。I.B.MUSEUM SaaS は、収蔵品管理を中心に多方面の付帯機能を有する博物館向けのクラウドサービスです。2010 年秋のローンチから、常にユーザの肉声を収集しながら時代の変化に対応する機能改善を繰り返し、同種のデータベースシステムとしては異例となる全国数百館にも及ぶユーザを獲得。館種や規模に関わらず、あらゆるミュージアムに無理なくご利用いただける文化資源情報インフラの業界標準へと成長を続けています。

触れる

インターフェイスとユーザサポート

- 初めてお使いの方も直感的に操作いただけるよう、人間中心設計[※]にもとづいたユーザ・インターフェイスを採用
- 不明点を気軽に質問できるサポート担当のほか、専用のサポートサイトや随時開催の操作説明会など細やかな支援体制を提供

始める

オンボーディングとメンテナンス

- データの分類や項目は、自由に追加・変更しながら自館専用の仕様にカスタム
- 画面レイアウトはマウスで容易に調整
- 検索結果も、各ユーザがそれぞれ見やすく使いやすい表示にアレンジ

見つける

データの検索

- 膨大な登録データから必要な情報を最短距離で探し出せる、正確で柔軟な検索機能
- 何度も繰り返す検索作業は、検索条件を丸ごとブックマーク可能
- 保存した検索結果を瞬時に再現できる、好評のクリップリスト機能
- 異体字・旧字や類義語の検索にも対応

貯める

データの登録・蓄積

- 件数・文字数・容量とも制限で縛らないストレスフリーなデータ登録環境
- テキストデータは、個別登録・複製登録・Excel 一括登録から選択可
- 入力作業を大幅に効率化できる辞書登録機能
- 画像データの登録はまとめてドラッグ&ドロップで
- 3D (obj 形式) データ、PDF ファイル、YouTube 動画なども資料データに紐づけて登録可能

I.B.MUSEUM SaaS



インターネット
接続環境があれば
WindowsもMacもOK
もちろんiPadでも
使えます

※人間中心設計とは
システムの使用に焦点を当て、人間工学及びユーザビリティの知識と手法とを適用することによって、インタラクティブシステムをより使えるものにするを目的としたシステムの設計及び開発へのアプローチ。
～国際規格「ISO 9241-210:2019」および「JIS Z 8530:2021」による定義

使う

業務利用

- 作家や寄贈者などの人物情報データベースも、資料情報と連携しながら管理
- 展示や貸出といった資料の動きもデータ化し、出品歴や移動歴として自動的に蓄積
- 資料カードやコンディションレポート、資料ラベル、貸出許可書や受入礼状など、館オリジナルの帳票デザインで出力可能

発信する

情報公開と流通促進

- 登録されたデータから外部公開が可能なものを選ぶだけで、そのままコンテンツの原稿に活用可能
- 公開する資料データとデザインテンプレートを選び、検索項目や画像サイズなど簡単な設定を行うだけで、インターネット公開する資料データベースの準備が完了
- インバウンド対応にも役立つ展示ガイドをはじめ、自由に使える複数のアプリを標準搭載
- 外部サービスと容易に連携できる Web API 公開機能
- 「ジャパンサーチ」にも簡単な設定で情報公開が可能

守る

データ保護

- 「閲覧可」「編集のみ」など各ユーザのアクセス権限を、資料分野ごとに細かく管理
- 権利保護の観点から、拡大画像には不可視の電子透かしの自動挿入も可能
- データセンターは国内最高水準の施設を利用し、遠隔地にある別のセンターで毎日バックアップを実施
- 外部の専門機関による脆弱性診断を継続的に実施

成長する

機能改善

- ユーザの要望への対応を中心に、サービス開始から10年以上にわたり100件以上の機能改善・追加を実施
- OSやデバイスの進化にも対応、時代に合わせた快適な操作環境を約束